

パレット保育園・センター南

2025年度自己評価表

評価日：2026年2月14日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育方針の共通理解と全体的な計画等の作成	1	保育の理念や基本方針が子どもを尊重したのになっており、全職員が理解し、実践しているか	A	園内に保育理念・保育方針・スタッフの使命を掲示している。年度初めの職員会議や研修時に読み合わせや確認をし、周知徹底している。
	2	全体的な計画は基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一にして作成されているか	A	前年度の見直しをし、職員会議で読み合わせをし、作成している。
	3	日常の保育を通して子どもの意見や意思をくみ取る努力をし、指導計画に反映させているか	A	子どもの成長を考慮し、計画を柔軟に見直している。言葉で表現できない子どもの場合などは、気持ちを代弁しながら意思を確認したり安心感が持てるようにしている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・新入社員研修会で基本方針、保育理念等について研修を行っている。 ・新入社員には、フォロー担当がそれぞれの手順書のマニュアルを研修して保育に臨めるようにしている。 ・各マニュアルは、見直し、改訂のたびに掲示し、確認をしている。 ・見学者や新入園の保護者に対し、保育理念や方針について詳しく説明を行っている。 【課題・対策】 ・各スタッフが自園の理念や基本方針について改めて確認をし、それをもとに日々の保育に意識して関わられるような仕組み作りをしていく必要がある。 園目標が理念を常に意識したうえで立てたのち、振り返って皆で考える時間を作っていく。			
子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施	4	入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか	A	入園児に個人面談を実施し、担当が把握する。重要事項は全職員で共有する。
	5	新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか	A	園児の状況に応じ、1週間程度の慣らし保育をおこなう。保護者との情報共有・交換のために保護者用アプリ『コドモン』の連絡ノート機能でコミュニケーションを図っている。
	6	子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか	A	クラス担当が中心となり、作成し、年に数回振り返り・反省を元に見直しを行っている。保護者の意向も可能な限り反映している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・重要事項等に変更、追加があった際は、昼礼やクラスmtgにて全スタッフで共有している。 ・入園前の個人面談や入園後は、登降園時に家庭での過ごし方など園児の様子を保護者の方に日々伺い、全スタッフで共有している。 ・園児の個人記録の記入については担任や保育者同士での話し合いで、進めていくようにしている。 ・年に2回、保護者との個人面談を実施している。また、必要や要望に応じて、保護者と担任・臨床心理士との個別面談も実施している。 ・週案及び日案において、特質ある子どもへの特記事項を記録している。 ・専属の心理士の巡回を依頼し、必要時に気になる子へのかかり方の指導を受けている。 ・園児の通う療育センターとの連携も密にとる中で、フィードバックした内容は議事録に取りながら、要配慮児のかかり方を、担任だけでなく、クラスmtgなどで報告をして皆で共有できるようにしている。 【課題・対策】 ・気になる子に対する意識の共有はできていないが、関わり方などは心理士への相談以外での話し合いまでできていないので、場面に応じた最適な関わり方などのグループワークを持つようにしていく。			
快適な施設環境の確保	7	子どもが快適に過ごせるような環境への配慮がなされているか	B	各部屋に温湿度計を設置し、チェックをする。毎日清掃・消毒をおこない、清潔を保つようにしている。
	8	子どもの発達に応じた環境が確保されているか	A	食事や午睡の空間を作っている。異年齢交流、自由保育、コーナー保育などを取り入れている。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・成長に合わせた玩具を子どもたちの様子を見て入れ替えたり、興味を示すものなど積極的に取り入れるようにしている。 ・必要に応じて部屋会議を行い、玩具、レイアウト等子どもの成長に合わせて変更している。 ・個々の成長に合わせて、縄跳びなどを取り入れたり、ルールのある遊び(ドッチボールなど)を取り入れている。 ・子どもの遊びの流行に合わせてコーナー遊びの環境を変えている。 ・部屋の棚の角などには、すべてにカバーをして、安全を確保している。 ・必要に応じて、縦割り保育を計画的に実施している。 ・日々の活動内容をドキュメンテーションのように、写真を用いて報告を行い、保護者の方により伝わりやすく工夫をしている。 【課題・対策】 ・選んで遊べる、自由に選択できるコーナー・棚などを工夫した環境作りの向上をはかっていく必要がある。 ・玩具の種類・数量を増やしていき、遊びを広げる保育士のスキルもあげていく。 ・様々な工夫はしているものの、園全体で、園児の欲求を満たしていける環境作りを進めていけるように研修に出たり、環境整備をしていく。			
	一人一人の子どもに個別に対応する努力	9	子ども一人一人の状況に応じた保育目標を設定し、それに合わせた個別指導計画を作成しているか	A
10		子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか	A	成長発達記録・園児健康診断記録表・健康カルテ等、必要書類をコドモン内に記録をし、全職員で情報共有をしている。
【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・個別指導計画を作成するときは担任で話し合い個々に合わせた目標を設定するようにしている。 ・日々、クラス内で気になる子の発達の話し合いをし、個人別月案を作成している。 ・部屋で話し合いを持ち一人ひとりの成長に対し情報を共有している。 ・要配慮児や、不安定になっている児・保護者などの様子を毎週のmtgで報告し、全スタッフで共有できるように議事録を回覧している。				

パレット保育園・センター南

2025年度自己評価表

評価日：2026年2月14日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
		【課題・対策】 ・気になる子への関わり方について、担任や部屋の保育士だけでなく、話し合ったり、コミュニケーションを取れる環境を作っていきたい。		

パレット保育園・センター南

2025年度自己評価表

評価日：2026年2月14日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み	11	特に配慮を要する子どもを受け入れた場合、保育する上で、必要な情報が共有化されているか	A	ミーティング時に情報共有をし、対応を話し合っている。外部の専門機関の研修に参加し、その内容も共有をしている
	12	虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか	A	毎日の受け入れ時に視診・触診を丁寧に行っている。送り迎え時の会話などからも早期発見に努めている。独自の児童虐待マニュアルを配備しており、全職員で研修をしている。
	13	アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができているか	A	独自のアレルギー対応マニュアルを配備し、全職員で研修をしている。マニュアルに沿って、書類、環境、備品を整え、誰でもわかるよう対応している。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・配慮児の通う療育センターと連携して、保育園に巡回し、成長発達を共有しながらかわりを深めていっている。 ・保護者と連携を密にとり、日々子どもの成長や変化を把握している。また、面談が必要に感じた時はいつでも行うようにしている。 ・昼礼で明日のメニューの確認をし、除去または代替食情報をスタッフで共有している。 ・テーブルにアレルギー時の席をつくり、名前、場所をトレーと食札で園児にもスタッフにも視覚でわかるようにしている。また、離乳食も一人ひとりのトレーと食札で確認しやすく提供している。 ・アレルギー児には個別の台布巾で対応している。 ・配膳時にはスタッフ同士で声を出し確認し配膳を行っている。 ・給食室からの配膳時に給食スタッフと保育スタッフでメニューの確認(除去、代替)を声に出し行っている。 ・施設長検査時・0.1歳児の配膳前の給食室からの受け取りの際は、各々食材表を確認し、チェックをしながら受け取るようにしている。 ・園内会議の中で、気になる子研修を毎年行っている。 ・昼礼やクラスmtgで、随時情報が共有できるようになっている。 【課題・対策】 <ul style="list-style-type: none"> ・虐待に関する意識などを高められる研修を取り入れていく必要がある。 			
苦情解決体制	14	保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか、また迅速に対応できる仕組みになっているか	A	苦情処理規程にそって、園内に苦情受付体制の掲示をしている。園だけではなく、第三者委員、公的機関にも要望や苦情を伝えられる仕組みになっている。普段の要望はコドモン内の連絡ノート機能や行事アンケートでも伝えることができる。
	【地域・園に応じた独自の取り組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・玄関にご意見箱を設置している。 ・年度初めに、説明会を行い、苦情受付担当の紹介をし、周知してもらうようにしている。 ・年に2回、代表保護者との運営委員会を設け、保護者からの意見を伺える場を設けている。 【課題・対策】 <ul style="list-style-type: none"> ・意見箱の苦情設置箇所についての周知を毎年の説明会時などに周知できるように話していくようにする。 			
保育内容(あそび)	15	子どもが主体的に活動できる環境構成ができているか	A	年齢や発達に応じたおもちゃをそろえている。自由遊びの時間はコーナー保育ができるよう工夫をしている。
	16	遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか	A	朝・夕は子どもたちが自由に遊べるように時間を設けている。
	17	動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか	A	おいも掘りをおこなっている。野菜・花の栽培やカブトムシを育てたりしている。
	18	子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか	A	独自の能力開発プログラムの中に、絵描き歌、運動プログラム、文字や数字に興味をもてるテキストを準備している。またそれを毎日の保育に取り入れている。
	19	遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか	A	朝、夕の合同保育の時間だけでなく、異年齢保育をおこなっている。園児同士の関わりだけでなく、職員が仲立ちをしながら会話や関わりを持って保育をしている。
【地域・園に応じた独自の取り組み】 <ul style="list-style-type: none"> ・野菜の栽培やさつまいもの収穫に取り組み、全園児で楽しんでいる。 ・自由遊びの際は園児が希望する遊びを遊び込めるように工夫をしている。 ・目線を考えて環境構成を配置している。 ・年長児は近隣園の年長児や小学生との交流活動に参加している。 ・独自の運動プログラムがあり、保育の活動の合間などにも基礎体力作りの運動遊びを取り入れている。 ・月1回など、リトミックなどの縦割り保育を行っている。 ・ざりがにやおたまじゃくしなどの生き物の飼育にも取り組んでいる。 ・野菜などの栽培をしながら食育に力を入れて取り組んでいる。(幼児クラス) 【課題・対策】 <ul style="list-style-type: none"> ・玩具の数量・種類を増やし遊びを広げていく。 ・保育士が遊びを広げていったり、自らで遊びを提供し、関心意欲を高める研修なども取り入れていく必要がある。 ・保育遊びのグループワークなどを取り入れていく。 ・乳児におきては、野菜栽培をお部屋でもできるものを用意し、水やりなどの簡単な季節の野菜栽培などをしていきたい。 				

パレット保育園・センター南

2025年度自己評価表

評価日：2026年2月14日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育内容(生活)	20	食事を豊かに楽しむ工夫をしているか	A	個々の食事量に配慮しながら、完食の喜びを味わえるような調理方法や配膳方法を工夫している。職員も指導食を食べながら、食材についての話をしたりと楽しい雰囲気の中で食事ができるように声かけをしている。
	21	食事の場、食材、食器等に配慮しているか	A	献立は、季節の移り変わりに合わせ、旬の食材を使用し、行事メニューや物語メニュー郷土料理メニューなどを取り入れている。食器・食具は年齢に合ったものを使用している。
	22	子どもの喫食状況を把握して、献立の作成、調理の工夫に活かしているか。	A	給食スタッフは子どもたちの喫食状況を見て、残食状況もチェック・記録し、献立作成に反映させている。2週間ごとの繰り返しメニューにすることにより、切り方、味付けの工夫を改善できる。
	23	午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。	A	乳児はコドモン内の睡眠チェック表を使用し、睡眠時の体調をチェックしている。年長児は秋以降から午睡時間を減らしていくが、個々の状況で対応している。室温や採光の調節をし、心地よい眠りにつけるよう配慮している。
	24	排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。	A	各家庭と連携を取りながら、無理のないように進めている。トイレがリラックスしていける場所になるよう環境面の工夫をしている。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 『物語メニュー』ではおやつを食べる前後に絵本を読んでいる。 乳児は遊びの環境・食事をすると場所・寝る場所を区切っている。 2.3歳児は、食事する場所・寝る場所を区切っている。 食材表でその日使っている食材・栄養素を知り、興味を持って食事ができるようにしている。 眠りに入りやすいような、BGMを0.1歳児は流している。 ディスプレイを目立つところへ設置して、保護者も給食を身近に感じ、家でも食育の共有ができるように工夫している。 園独自の食育マスターという教材を使用し、食への興味関心を育てている。 年度の始めに乳児・幼児で分かれて給食スタッフと共に、独自の食育年間カリキュラムを作成している。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 排泄を促す関わり方や、午睡の個人差をどうとらえていくかを今一度話し合いの場を設けて、主体性のある関わりをし、園児にとって最適な生活環境とは何かを話し合っ今あるルールを進化させていく。 				
健康管理	25	子どもの健康管理は、適切に実施されているか。	A	園児健康診断記録表や健康カルテに、個々の健診・測定の結果を記録している。既往症・アレルギー等については全職員で情報共有して対応をしている。
	26	感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。	A	独自の感染症マニュアルがあり、保護者にご協力いただく部分は園のしおりに記載をしている。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症に一人かかったら保護者に掲示と配信で知らせている。また家庭での予防や嘔吐物の処理方法もお知らせをしている。 毎年、園内会議で衛生管理のマニュアルの読み合わせや見直しをしている。また、嘔吐処理の実践・研修もしている 手洗いうがいの大切さを、園児へ意識的に伝えながら、自身で予防できるように洗面所にも掲示をして意識づけに取り組んでいる。 研修報告書などで、感染症などの情報を共有できている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の薬剤師さんによる、手洗い講習会を過去に開いていたので、毎年開催していき、意識を高めていく。 				
衛生管理	27	衛生管理が適切に行われているか。	A	保育室・トイレ・厨房を毎日清掃し、掃除チェック表を用いて管理している。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 東急の衛生管理の研修に給食スタッフが常時参加している。 給食研修会議は年に1回集まって情報共有している。 日々の玩具消毒を、丁寧にこまめに行っている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> 加湿器の数を増やして、冬場の乾燥を防いでいく必要がある。また、乳児室の加湿器の清掃をこまめに行っていくようにする。 				

項目	番号	内容	評価	実施していること
安全管理	28	安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。	A	毎月1回の避難訓練を通し、職員間でも常に迅速に対応できるよう話し合っている。全スタッフが救命救急研修を受講している。コドモンによる緊急メールおよび緊急掲示板で保護者への連絡がスムーズにできるよう配慮している。
	29	事故やけがの発生時及び事後の対応体制が確立しているか。	A	事故の振り返りシートを作成し、再発防止を園内で話し合い、実行している。近隣医療機関をまとめた一覧を作成し、迅速に対応できるようにしている。
	30	外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。	A	玄関はオートロックになっており、在園児の保護者のみにカードキーを付与している。来客やカードキーを忘れた場合は名前・顔確認後に施錠解除している。警備会社への通報システムがある。不審者対応訓練を年1回おこなっている。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に1回の不審者対応訓練を、東急のスタッフと防災センターと連携を取り合っている他、追加して年に4回不審者対応訓練を行っている。 ・環境を整備しながら、各部屋の安全管理について考えている時間を設けている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ひやりはつの危険箇所などについて、定期的に剥がれ等ないか、細かく点検していくようにする。 			
人権の尊重	31	保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。	A	否定語を使わないよう職員間で話し合ったり、研修などで言葉づかいを振り返ったりしている。子どもの名前は呼び捨てにしない。
	32	必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。	A	仕切りを使うことでプライバシーを確保したり、好きな遊びや一人になれるコーナーを設置している。
	33	個人情報の取り扱いや守秘義務について職員に周知しているか。	A	守秘義務については全職員が入社時に説明・研修を受け、誓約書を提出している。保護者にも個人情報の取り扱いについて同意書をいただいている。個人情報は鍵のかかる書庫で管理をしている。
	34	性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。	A	発表会での役決めなどは子どもたちと話し合っている。父の日、母の日は感謝の日とし、父・母で分けることはしない。
<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年、人権擁護の研修を取り入れ、自分自身の行動に対しての振り返りを行っている。 ・0・1歳児においては、部屋でのおむつ替えの際に見えないようにパーテーションを設置し、空間を確保している。 ・園内研修で、不適切な保育における関わりなどを、グループワークをしていく時間を設けている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護の研修の中に、細かなグループワークを継続するようにし、園会議のときに改めて意識づけをしていくようにする。 				
保護者との交流・連携	35	個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行い、情報共有や相談対応をしているか。	A	送迎時に様子を伝えるだけでなく、年1~2回個人面談をおこなっている。またそれ以外でも相談があった際には個別に対応している。
	<p>【地域・園に応じた独自の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に1回、保護者保育に参加できるパパママ先生という保育体験会を実施している。(希望制) ・園の外側の東急の廊下部分にあたる壁側に子育てポケット(育児の知恵など)や、園の行事の誘致・ミニレシピなどの掲示をしている。 ・年に1回、パレット学習タイムの参観日を設けている。 ・年に1回、親子レクリエーションを全園児参加で行っている。 ・卒園児の保護者が定期的にイベントを園内で実施し、在園児の保護者やその地域の子供を持つ保護者と交流をもっている。 ・子育て広場を開催し、地域交流の時間を設けている。 ・年に2回、個人面談を設けており、保護者の方の悩みを傾聴できる時間を作っている。 <p>【課題・対策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育における10の姿や、非認知能力についての学びを保護者の皆さんにも発信していき、アタッチメントについての発信をしていく。 			

パレット保育園・センター南

2025年度自己評価表

評価日：2026年2月14日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
保育所の専門性を活かした相談機能	36	地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。	A	育児相談日(要予約)を設け、対応している。夏祭り等は園を開放し、地域住民の方も気軽に園を見ることができるようにしている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・子育て広場を併設させ、週に3回、保育質・園庭の開放を行い、交流をはかっている。		
		【課題・対策】 ・電話相談などの周知があまりされていないので、チラシなどでの周知配布をしていく。		
保育所の地域開放	37	子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。	A	近隣園と交流をしたり、地域のイベントやお祭りに参加している。お散歩時には地域の方に積極的に挨拶をし、交流するようにしている。
	38	利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。	A	定期的に見学日程を設け、対応している。また都合がつかない方には個々の希望日に対応をしている。ホームページにも詳細を記載し、メールでの問い合わせも可能としている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・見学日に関しては、提示してある中に、保護者の皆さんの都合のいい日がない場合は、直接予約できるように明示し対応している。 ・イベント開催時には、通園している園児との交流会をし、一緒に楽しめる企画を考えている。		
	【課題・対策】 ・電話相談などの周知があまりされていないので、チラシなどでの周知配布をしていく。 ・チラシ配布や区役所掲示・Instagramなどを積極的に行っていく。			
実習生・ボランティアの受け入れ	39	実習生・ボランティアの受け入れを適切に行っているか。	A	希望があった場合、できる限り受け入れをしている。受け入れ時には施設長が園の方針や注意事項等をしっかりと伝え、参加してもらっている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・中学生の職業体験を実施している。 ・実習生やボランティアは、問い合わせが入った時に、受け入れる体制をとっている。		
		【課題・対策】 ・学校訪問などして、実習生の受け入れもしていますと、園側から声をかけるようにしていく。		
職場の人材育成	40	保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。	A	募集媒体・ホームページ・面接時にパレット保育園の理念や方針が伝わるように説明している。また入社後も内部・外部問わず研修に参加している。
	41	職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか。	A	法人本部のさまざまな研修や外部研修を利用し、一人一人にあった育成計画にそって受講している。研修を受講した職員は研修報告書を作成し、内部研修にて他の職員と共有している。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・園独自の各マニュアルの手順書を、途中入社において初めに指導する体制を整えている。 ・できたかな表を各自で作成をし、スタッフ一人ひとりが保育目標を設定し、毎月保育の振り返りを行っている。		
	【課題・対策】 ・必要に合わせて、途中入社のスタッフでもOJTをするなど、育成の仕組みを作っていく。			
職員の技術の向上	42	保育士等が保育や業務の計画及び記録を通してみずからの実践を評価し、改善に努める仕組みがあるか。	A	園内会議だけでなく、クラスや部屋の会議などを利用して、振り返りをおこない、計画作成に反映させている。
	43	保育士等の自己評価を踏まえ、保育所としての自己評価を行っているか。	A	年1回、自己評価シートを使い、会議などで振り返りをおこない、チェックをする。課題を見つけ、改善策などを意見交換している。また第三者評価も受審し、客観的な振り返りもおこなっている。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・保育の質の向上に向けて不適切な関わりなどの事例を用いて、グループワークを行っている。 ・環境整備・縦割り保育・保育あそび・避難訓練と分かれて企画推進を行い、会議の時などに話し合う時間を設けている。 ・市で主催している公開保育などの研修に参加し、様々な保育を知り、学べるようにしている。		
	【課題・対策】 ・公開保育などで学んだ情報を共有できる時間を作っていく必要がある。			
経営管理	44	事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。	A	法人本部にて最新情報を入手し、共有をしている。職員採用時には法人本部にて初期研修をおこない、個人情報の遵守、倫理について学んでいる。
		【地域・園に応じた独自の取り組み】 ・施設長会議での情報を、会議の毎にスタッフ全員で共有できるようにしている。 ・キントーンで届く最新情報もすぐに本部・園で周知できるようにしている。		

パレット保育園・センター南

2025年度自己評価表

評価日: 2026年2月14日

2023.07.24第三版

項目	番号	内容	評価	実施していること
園目標や自己評価結果に対しての反省・課題 (事業報告書へ)		【課題・対策】 園内会議に不参加だったスタッフに対しては議事録での情報共有はしているものの、同じようにグループワークでの体験などから得られる気持ちの共有もできる時間を作っていきたい。		
		今年度の園目標になっている「smile & challenge」については、昨年度の相健笑話を確立しながら、笑顔で取り組めた。Challengeの部分では、細分化して個々でそれぞれが、自分の役割を認識し、それについて取り組むことができたように感じる。玩具拭きや玩具点検もこまめに行えたり、冬野菜の栽培についても幼児クラスでは取り組むこともできた。地域との交流も増え、今後は関わりをもつだけでなく、手作りおもちゃを作ったりとさらなる向上をしていきたいと思う。お部屋やクラスの中ではこまめに話し合いや振り返りの時間も持つことが出来たが、園全体での縦割りでの振り返りや話し合いの時間はあまり作ることができなかった。来年度にはそういった時間も積極的に取り入れていきたいと思う。行事では、発表会で4・5歳児と一緒に合奏に取り組むという新しい挑戦もし、音の重なりを一緒に楽しみ、表現する体験もすることができた。今後は、部屋の壁を越えて、今以上に異年齢での交流を深めていき、日ごろの保育で密に関われる時間を作っていきたいと思う。		